



仁和だより 特別号

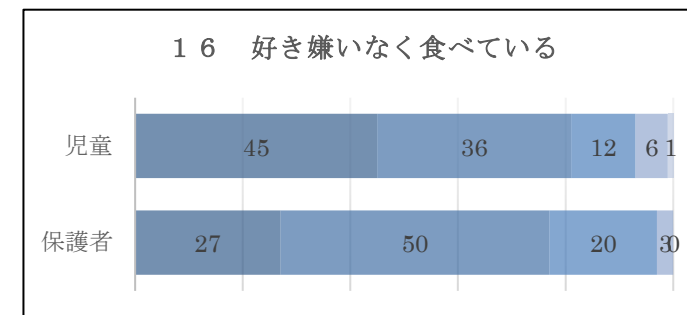
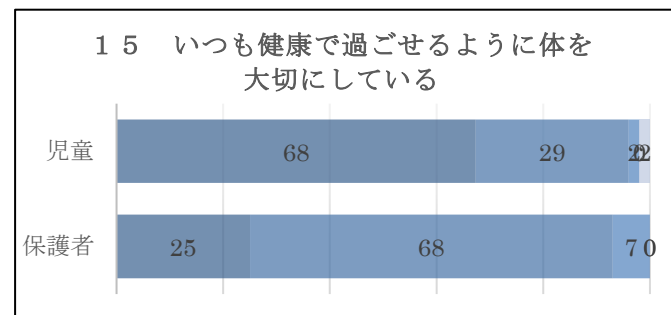
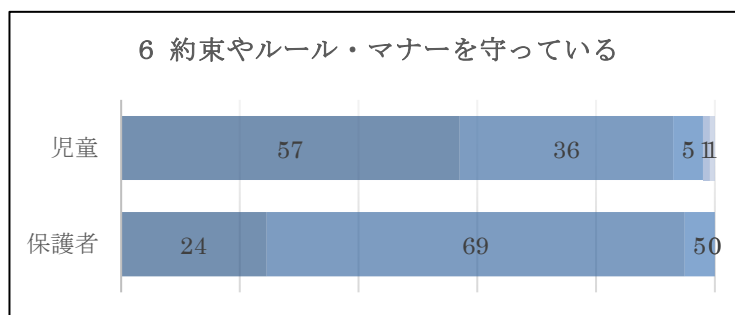
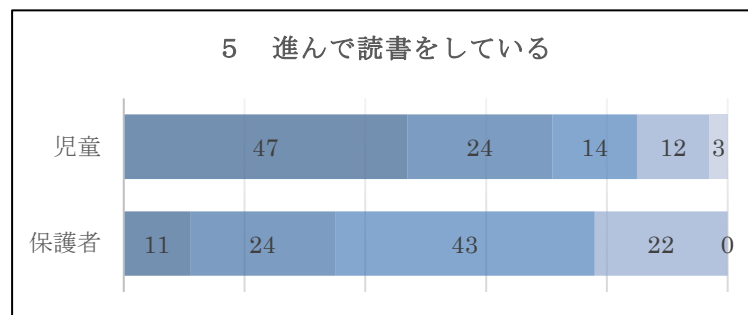
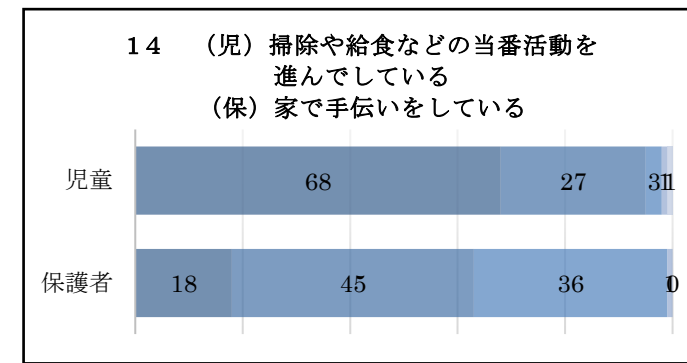
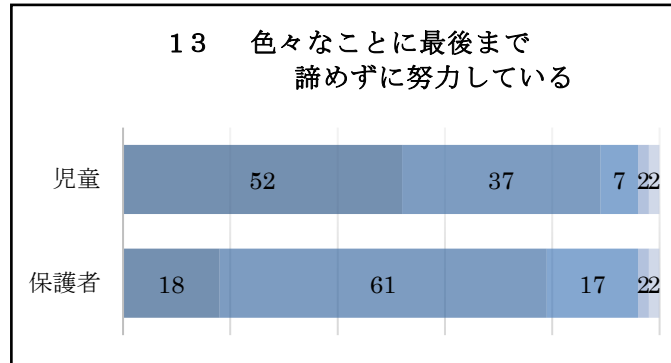
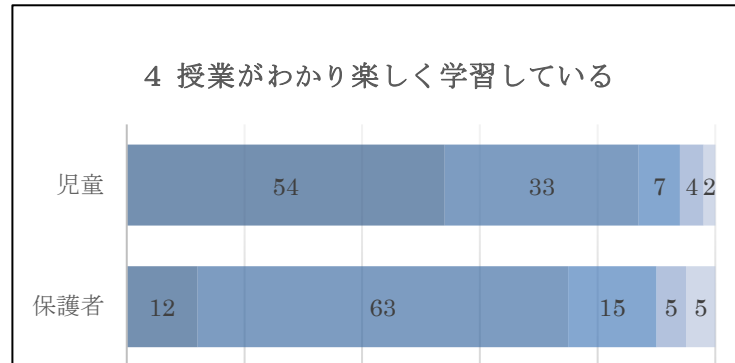
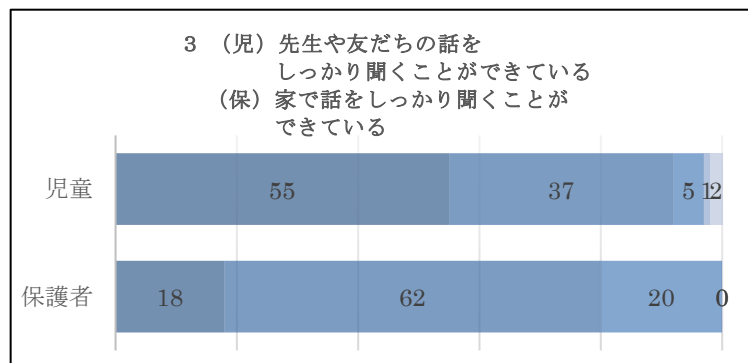
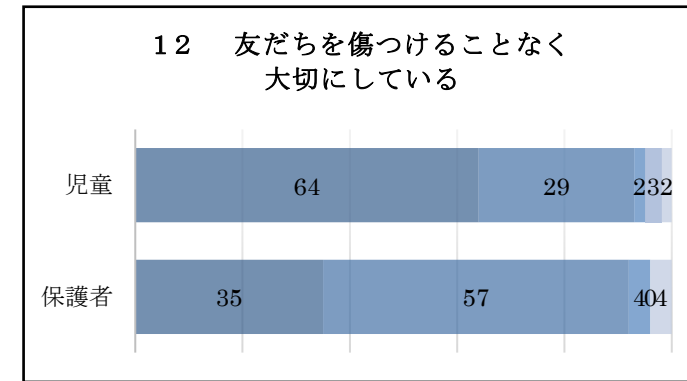
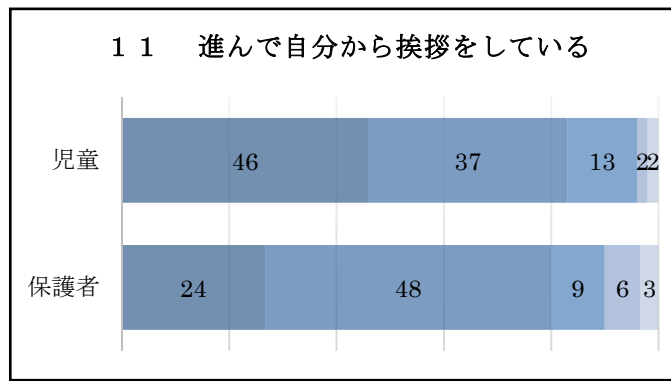
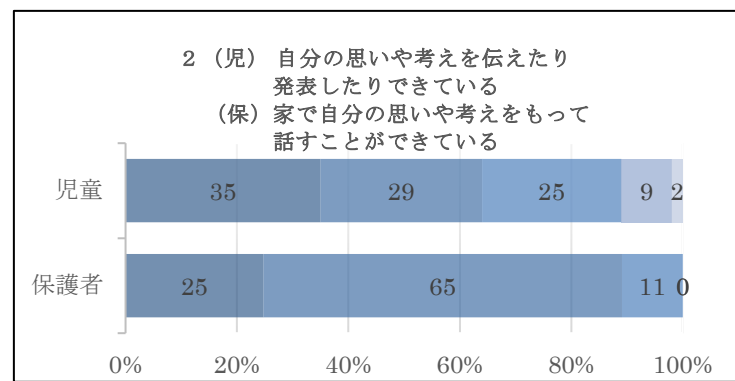
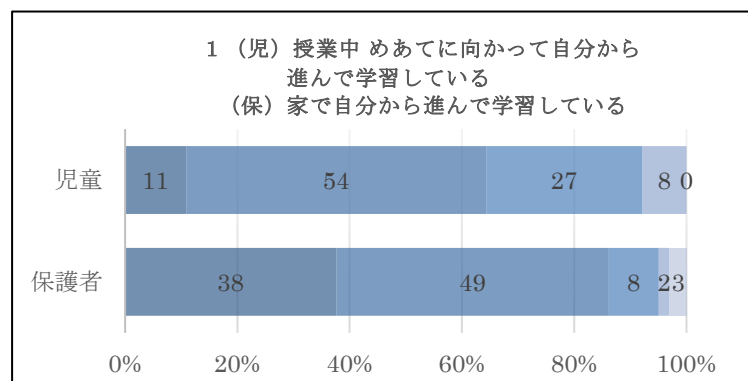
令和7年3月19日
京都市立仁和小学校
校長 佐野 丈夫

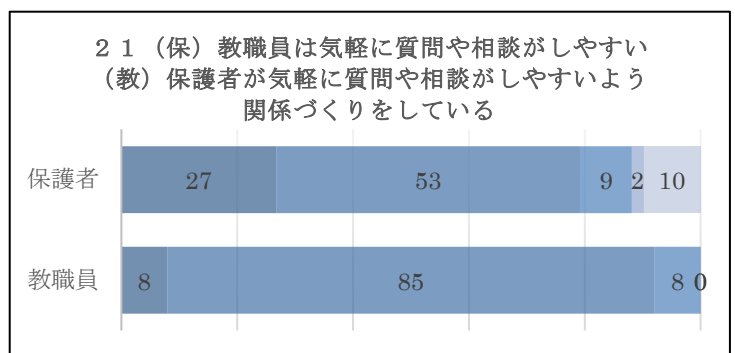
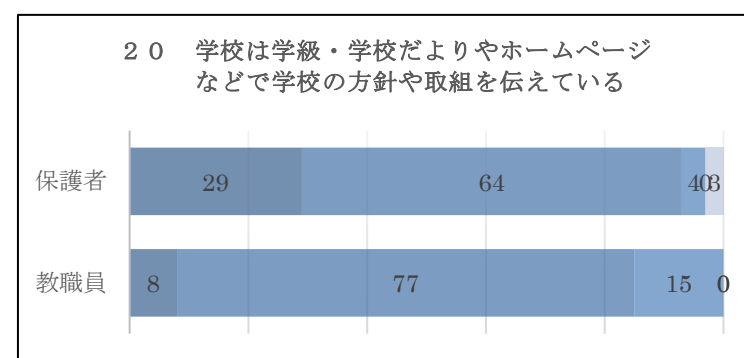
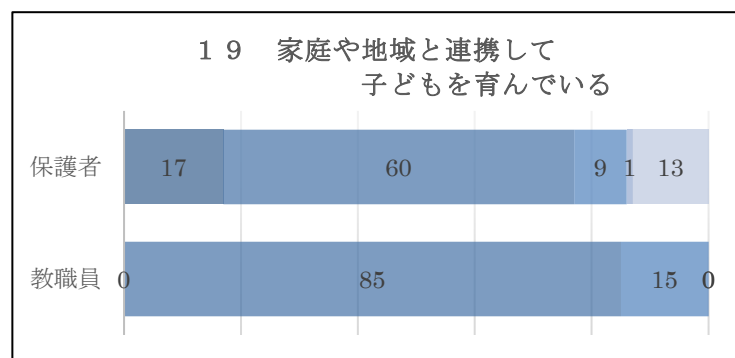
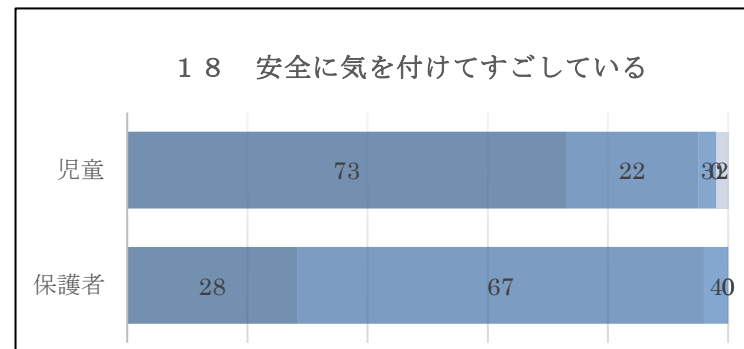
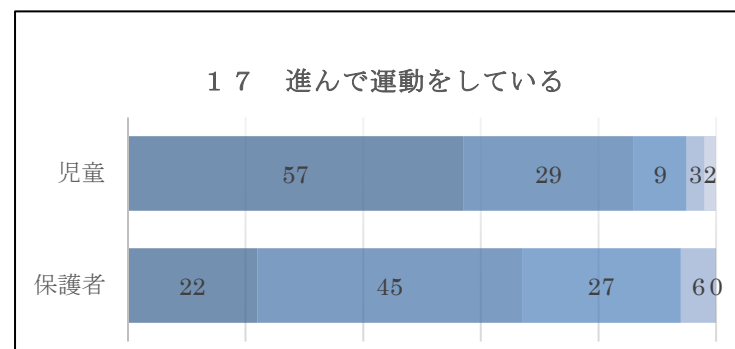
仁和小学校 学校教育目標 自ら学び 自ら律し ゆめに向かってたくましく共に生きる子の育成

学校評価アンケート後期結果

保護者の皆様には、お忙しい中、1月末に「令和6年度後期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。児童と保護者の学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。よかった点や課題も含め、保護者の方や地域の方と共有し、よりよい学校づくりにつなげていけたらと思います。今回の保護者アンケートの回答率は、55%でした。自由記述欄にも、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後も、アンケートを継続していきますので、保護者の方のご協力を是非お願いしたいと思います。

■よく出来ている ■だいたい出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない





■よく出来ている ■だいたい出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない

＜アンケート結果の考察＞

○質問2より「自分の思いや考えを伝えたり発表したりできている」と答えた児童が6割という結果となっています。これは、毎年の課題としてあがっています。来年度は、まずは、相手の話をしっかり聞くことに重点をおいて取り組んでいきたいと考えています。話を最後まで聞く、話していることを理解しようとする姿勢を身に付けることは、相手とコミュニケーションを取る上で、とても大切なことです。しっかり聞いて考える力を付けることで、「自分の思いや考えを伝えたり発表したりする」ことにつなげていきたいと思ひます。

○質問7「進んで読書をしている」と答えた児童が、7割という結果になっています。今年度は、朝読書の時間を設け全校で読書に取り組んできました。また、図書ボランティアの方には、朝の読み聞かせや放課後の図書館開放でお世話になっています。1階のおすすめの本のコーナーの活用や年に2回の読書週間の取組なども行っています。来年度も朝読書の時間を継続していきながら、子ども達の読書環境を整えていきたいです。

○質問7「時間を守って行動している」の項目について、児童・保護者共に9割近くができていますと答えています。代表委員会の話し合いの中でも、大切にしていきたいことの一つとして「時間」があがりました。「時間」を意識するために、ノーチャイムデーを設け全校で取り組んでみました。取組前は、できるかどうか心配をしていたのですが、たくさん子ども達が時計を見て行動し、お互いに声かけをする姿も見られました。「時間を守って行動する」ことは、自分のことだけではなく友だちのことも考えて行動することやみんなで気持ちよく過ごすことにもつながります。今後も様々な場面を捉えて時間を守って行動する力を養っていきたいです。

○質問12「友だちを傷つけることなく大切にしている」と答えた児童が、前期と同様9割を超えています。学校での子ども達を見ていると、言葉遣いが気になる場面があります。「今の言葉はよかった？」「自分だったらどう思う？」「違う言葉だと伝わり方が違うよね。」など気になる場面では、問いかけて、一緒に考えて次に生かせるように日々取り組んでいます。12月に行った人権集会でもクラスでの取組を交流しました。来年度も相手を思いやる言葉・行動ができる力を更に培ってきたいです。

○質問17「進んで運動している」と答えた児童が、前期より増えています。休み時間は、鬼ごっこやドッジボールなどで体を動かして遊ぶ児童が多く見られます。集めて頂いたベルマークで一輪車を購入したり、おやじの会で手作りの三角馬をリニューアルしていただいたりしていることは、用具充実につながり、子ども達の運動への意欲へつながっています。また運動委員会主催の大縄大会やドッジボール大会にも取り組みました。クラスで大会に向けて練習する姿や友だち同士教え合う姿も見られました。来年度は、さらに休み時間に体育館を活用し、様々な運動をできる機会にして行く予定です。今後も運動を進んで楽しんでできる環境作りに努めていきたいと思っています。

＜学校運営協議会理事の皆様より(一部抜粋)＞

＊土曜日に行われた運動会を参観したが、たくさんの保護者・地域の方が来られていて、たくさんの目で子ども達を見守っていると感じた。

＊人とのつながりが、コロナ禍を経て希薄になってきている。それをどう維持していけるのか。

＊働き方改革等、限られた制約の中で学校は精一杯やっていると思う。今までの学校のイメージとは違った状況になってきているということを地域・保護者も理解し協力していかないといけない。

＊コロナ前に行われていた子どもたちも参加できる取組を出来るといいと思う。

＊地域で応援できることはさせてもらいたい。

＊ノーチャイムデーの取組は、子ども達が自分で考えて動くことができるので、とてもよいと思う。

＊登校時の横断の安全確認などは、本来保護者の方の仕事でもあると思う。忙しいとは思いますが、みんなで見守ってほしい。